

【会議記録】

第5回一宮市部活動地域移行検討協議会

| | |
|-----|--|
| 日時 | 令和6年1月30日（火）14時30分～16時 |
| 場所 | 一宮市役所本庁舎14階 1402会議室 |
| 出席者 | 委員13名（鈴木、春日井、土川、長谷川、小島、町田、五藤、伊藤之、芳賀、江藤、伊藤実、藤原、森） |

1 開会のことば

2 一宮市教育委員会あいさつ（教育長）

3 報告事項

（1）令和5年度いちのみやモデル事業 生徒の事後アンケート結果について

○ 事務局から以下のように報告があった。

- ・12月までの生徒アンケートでは、どの種目も95%以上の生徒が「次回も参加したい」と回答している。指導者による指導の満足度も高く、生徒の会場までの移動は保護者送迎が多い。

（2）教職員アンケート結果について

○ 事務局から以下のように報告があった。

- ・地域クラブでの指導を希望する教職員について、回答のあった1,372人のうち、「強く希望する」21人、「希望したいが条件による」82人、「興味はあるので説明は聞いてみたい」106人、「希望しない」1,156人であった。希望する教職員の多くが、「指導している部活動を母体として休日のみ地域クラブとして指導する」を選択すると回答した。

4 協議

（1）令和6年度いちのみやモデル事業について

① 民間団体など外部機関によるモデルについて

○ 事務局から以下のように提案があった。

- ・今年度は、5つのモデルケース・5つの種目で、11月から計10回開催している。来年度は事業を拡大し、年間を通して、月2回のモデルケースと実施団体を増やしての活動をめざしている。

○ 来年度、年間を通して実施していく場合、各種目で年間の練習計画をどのように立てていくのが課題になる。

○ 今後は、実施しているモデル事業の中でチームを作って大会に出るということを1つの目標にしていく必要があるかもしれない。

○ これまでは、1つの部活動を約2年半継続することが普通であったが、休日は文化的な活動も含めて多くのものに挑戦し、自分の可能性を探っていくのもよいと思う。

② 教職員モデル（軟式野球）＜パターン1＞について

○ 事務局から以下のように提案があった。

- ・教員を中心とした指導者で、軟式野球部のない3つの学校を対象に参加希望を募り、来年度1つのチームを作っていく。教職員が中心となってクラブを立ち上げていく際にどのような課題があるのかしっかり検証していきたい。

○ 部活動がないところは、合同チームとして大会に出場することもできるため、実際に検証してみるの面白いと思う。

○ 教員の4月の異動により、部活動の存続が難しくなった部活の受け皿になるため、学校としても助かる。そのため、今回の部活動がない形のモデルの検証はよいと思う。

（2）事務局の運営について

○ 事務局から以下のように提案があった。

- ・来年度から「いちのみやスポーツ・文化クラブ事務局」という名称で、兼務の指導主事が2人と庶務係1人を考えている。今年度の大きな課題であった会場校の体育館入口の開錠・施錠については、電子のスマートキーを導入できないか検討している。

○ 事務局の運営をオープンにして課題を洗い出すとともに、将来的には事務局を教育委員会と切り離し、持続可能なものにしていかなくてはならない。

（3）その他

○ スポーツ協会と中小体役員との連携について、事務局から以下のように報告があった。

- ・スポーツ協会と中小体役員で話し合いの場を設け、短期的・長期的な問題も含め、連携して子どもたちの受け皿を確保していきたい。

5 一宮市教育委員会あいさつ

6 閉会のことば